

## 福井県南条郡南越前町燧におけるカワウの繁殖記録

吉田一朗<sup>1</sup>・水谷瑞希<sup>\*2</sup>

要旨：2002年6月に福井県南越前町燧（WGS84 datum; 35°46'59"N, 136°12'00"E）においてカワウの繁殖を確認した。これはカワウの個体数と分布域が減少した1970年代以降の福井県内陸部における、カワウの繁殖の初確認である。

キーワード：コロニー, 福井県, カワウ

Ichiro YOSHIDA<sup>1</sup>, Mizuki MIZUTANI<sup>\*2</sup>. 2008. New record of a breeding colony of great cormorants at Hiuchi, Minami Echizen Town, Fukui Prefecture. *Ciconia* (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 13:29-30. A breeding colony of the great cormorant, *Phalacrocorax carbo*, was observed at Hiuchi (WGS84 datum; 35°46'59"N, 136°12'00"E), Minami Echizen Town, Fukui Prefecture, in June 2002. This is the first record of the breeding of great cormorants in the midlands area of Fukui Prefecture since the 1970s.

Key words: breeding colony, Fukui Prefecture, *Phalacrocorax carbo*

### はじめに

カワウ *Phalacrocorax carbo* はペリカン目ウ科に属する大型の魚食性水鳥であり、繁殖時にはコロニー（集団繁殖地）を形成する（日本野鳥の会 2004）。

カワウは、戦前には北海道を除く全国各地で普通に見られる鳥であった（福田ら 2002）。しかし1970年代初めまでに個体数、分布域とも激減し、1971年には全国3か所のコロニーに3,000羽以下が残るのみとなった。その後、カワウは各地で個体数、分布域を増加しつつあり（石田ら 2000）、それにともなって新たなコロニーも各地で発見されている。

福井県においても、戦前には相当数の「う」が狩猟されていたことから（福田ら 2002）、カワウはかつては数多く生息していたと考えられる。その後は全国的な傾向と同様、福井県でもカワウの個体数は一時期非常に少なくなったものの、1980年代後半から九頭竜川、三方五湖、北川、南川などで多く観察されるようになった（吉田 1999）。

カワウの個体数が全国的に減った1970年代以降の本県におけるカワウの確かな繁殖の記録は、これまでおおい町冠者島のコロニーにおける、1994年以降の繁殖のみであった（松村・小嶋 1995）。これ以前にも1976年5月に鯖江市氏家町のサギ類コロニーで、ま

た1995年5月に鯖江市住吉町のサギ類コロニーで、それぞれ数羽のカワウが確認されているが、繁殖は確認されていない（吉田 1999）。今回、新たに福井県の内陸部に位置する福井県南越前町燧においてカワウの繁殖を確認したので報告する。

### 確認記録

カワウの繁殖を確認したのは、福井県南越前町燧においてである（図1; 35°46'59"N, 136°12'00"E, WGS84 datum）。この地点は、海岸から丹生山地を挟んで9km離れた内陸部に位置し、標高は145mである。カワウが営巣していたのは、日野川右岸の西向き斜面に立地するアカマツや広葉樹林などからなる雑木林である（図2）。

2002年6月2日に、カワウがアオサギ *Ardea cinerea* とともに営巣しているところを確認した。幼鳥が確認できたカワウの巣は3巣で、営巣木はアカマツおよび広葉樹であった（図3）。17時から19時までの間、コロニーへのカワウの出入りを観察し、成鳥10羽、幼鳥6羽の計16羽の就峙を確認した。2002年7月8日の同じ時間に再度調査したところ、10羽の就峙を確認した。これらの個体の大部分は就峙前、コロニーから1km以内の河川において採餌をしていた。

2003年6月、7月には、この地点ではアオサギの営巣のみ確認できた。調査時にカワウは付近に数羽いた

\* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: mmizuki@fncc.jp.

1 日本鳥類標識協会会員.

2 福井県自然保護センター 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2

Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

ものの、営巣はしていなかった。この年におこなわれた日本野鳥の会福井県支部のサギ類コロニー調査においても同様の結果であった（柳町 2003）。

なお、カワウの繁殖を確認したのは 2002 年が最初であるが、付近住民の話では、その前年（2001 年）にも 1 つがいが営巣していたとのことであった。したがって、このコロニーにおけるカワウの繁殖は、2001 年にもおこなわれていた可能性がある。

カワウの営巣は、枝葉の折り取りや糞の供給などにより、森林に対して樹木の枯死などの影響を及ぼすことが知られている（石田 2002）。当該コロニーはまだ小規模であり、営巣木の枯死などの森林被害は発生していないが、今後の動向を注視する必要があると思われる。

なお、2002 年 6 月 2 日の就峙個体数調査の際に、高田雄治氏にお手伝いいただいた。また本稿をまとめるにあたり、愛知県森林・林業技術センターの石田朗博士には貴重な御助言をいただいた。記して感謝する。

## 引用文献

- 福田道雄. 2002. 日本におけるカワウの繁殖生態. 日本鳥学会誌 51:116-121.
- 福田道雄・成末雅恵・加藤七枝. 2002. 日本におけるカワウの生息状況の変遷. 日本鳥学会誌 51:4-11.
- 石田朗. 2002. カワウのコロニーや集団ねぐらによる森林生態系への影響. 日本鳥学会誌 51:29-36.
- 石田朗・松沢友紀・亀田佳代子・成末雅恵. 2000. 日本におけるカワウの増加と被害：地域別・問題別の概況と今後の課題. *Strix*（日本野鳥の会研究報告）18:1-28.
- 松村俊幸・小嶋明男. 1995. 福井県におけるカワウの繁殖初記録. *Ciconia*（福井県自然保護センター研究報告）4:37-40.
- 日本野鳥の会（編）. 2004. 特定鳥獣保護管理計画技術マニュアル（カワウ編）. 日本野鳥の会, 東京.
- 柳町邦光. 2003. 2003 年サギ類繁殖コロニー調査報告. つぐみ（日本野鳥の会福井県支部報）136:3.
- 吉田一朗. 1999. カワウの集団営巣地. 福井県自然環境保全調査研究会（編）福井県のすぐれた自然：動物編. 福井県県民生活部自然保護課, 福井. pp. 97-98.

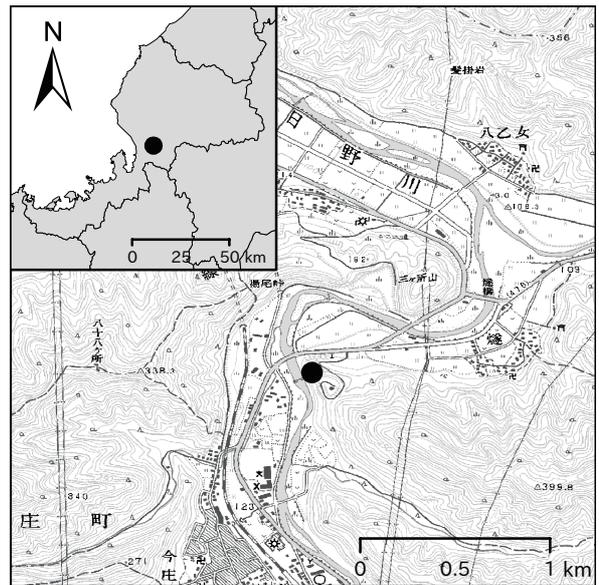


図 1 コロニーの位置.



図 2 福井県南条郡南越前町燧のコロニー全景. 2002 年 6 月 2 日撮影.



図 3 カワウ営巣木. 2002 年 6 月 2 日撮影.